

## 第2回 ふるさと松山「新春子規さん俳句かるた大会」競技規程

- 1 大会で使用するかるたは、「子規さん俳句かるた」とする。
- 2 ①小学1～3年生の部 ②小学4～6年生の部 ③世代間交流の部 のそれぞれ12チームを、それぞれ4つのブロック（3チームずつ）に分け、予選リーグ（総当たり）を行う。
- 3 それぞれの部で、予選リーグの各ブロック第1位のチームによる決勝トーナメント（準決勝⇒3位決定戦⇒決勝）を行う。
- 4 予選リーグ・決勝トーナメントともに団体戦のみとする。
- 5 組み合わせは、主催者が決定し大会当日に発表する。
- 6 選手の交代は大会当日の受付時まで認める。（ただし、出場条件を満たしていること。）  
大会当日受付後の選手の交代は認めない。
- 7 試合開始前に対戦するチーム同士が畳をはさんで対面に整列し「お願いします」、試合終了後に「ありがとうございました」とお互いにあいさつをする。
- 8 判定は、それぞれのコートに1人ずつ配置する審判が行う。
- 9 審判の指示により、72枚の札を重ならないように両チームで36枚ずつをランダムに並べる。
- 10 試合開始前に10秒間、札の場所を覚える時間を設ける。
- 11 読手が読み始めるまでは、手はひざの上に置くこと。
- 12 読手が読み上げた札に最初に手を触れた者のチームが、その札を取る。  
札を取る時に別の札をはじいた場合は元の場所に戻す。試合途中での札の並べ替えは行わない。
- 13 お手つき（読手が読んだ札とは違う札に手を触れること）をした者は、一回休みとする。
- 14 35枚の札を取り合ったところで試合終了とする。
- 15 獲得した札が多いチームの勝ちとする。（引き分けなし）
- 16 予選リーグで勝ち数と同じ場合（1勝1敗）は、2試合で獲得した札の合計数が多いチームが決勝トーナメントに進出する。  
合計数も同じ場合は、代表者のじゃんけん1回で勝ったチームが決勝トーナメントに進出する。
- 17 上記以外の必要な事項は、主催者が決定する。